

岡山市長 様

提案者(団体名) 平和推進岡山市民協議会  
所在地 岡山市北区春日町5-6  
代表者役職 理事長  
氏名 大石 和昭

協働課 岡山市保健福祉局保健福祉部福祉援護課  
所在地 岡山市北区鹿田町一丁目1-1  
代表役職 課長  
氏名 阿部 正人

### 令和6年度 市民協働推進事業提案書

岡山市との協働により課題解決を図るため、令和6年度岡山市市民協働推進事業を提案します。

提案事業の名称	岡山空襲を知らう伝えようプロジェクト
提案型	<input checked="" type="checkbox"/> 行政提案型 <input type="checkbox"/> NPO提案型
①社会課題の概要	<p>岡山市平和の日である6月29日に毎年開催している岡山市戦没者追悼式の参列者や、同時期に岡山シティミュージアムで開催している「岡山戦災の記録と写真展」の来場者は、減少傾向にある。平和な時代が続き、次世代を担う若者の身近に戦争体験者がいなくなっているなか、若い世代へ戦争の惨禍を伝え、平和を大切にする意識をどのように育んでいくのかがより重要な課題になっている。</p> <p>市では、岡山空襲を中心とした資料を展示し、歴史の事実を認識しながら、先人の労苦を偲び、戦争の悲惨さと平和の尊さを次世代に語り継いでいくため、平成24年10月に岡山空襲展示室を開設している。</p> <p>これまで家庭や学校が担ってきた戦争体験の継承の場を引き継ぎ、戦争体験者の役割を補完する施設として、岡山空襲展示室が市民に活用され、戦争の悲惨さと平和の尊さを次世代に語り継いでいけるよう、岡山空襲を語り伝える活動をしている平和推進岡山市民協議会と事業を実施する。</p>
②定性的効果 定量的効果	<p>定性的効果 見学者やガイドへの聞き取りやアンケートにより、理解度等を把握する。 参加者(ガイド)・空襲について知り、平和の大切さを考える機会になる。 市民・歴史や戦争についての理解を深め、平和を大切にする意識を醸成する。 岡山市・岡山空襲展示室の質の向上・充実(見学者の理解度・満足度)につながる。</p> <p>定量的効果 岡山空襲展示室の見学者の増加、活用の拡大を目指す。</p>
③提案事業の内容	岡山空襲展示室の「ボランティアガイド」を募集・養成・設置する。
事業の実施予定期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日
事業予算総額及び 補助金申請額	事業予算総額 1,997,824円 補助金申請額 1,997,824円

# 市民協働推進事業計画書

## (1) 実施体制

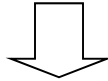
提案者	代表提案団体	平和推進岡山市民協議会		(担当者名 内田 順子 )		
	合同提案団体 (協議体・実行委員会等で提案される場合は構成団体をすべて記載してください。)			(担当者名 )		
	岡山市の担当者	課名	福祉援護課		電話	086-803-1218 内線 5453
		担当	氏名	岩本 由美	職名	係長
			氏名		職名	
		課名			電話	
		担当	氏名		職名	
氏名				職名		

## (2) 事業の目標・内容 ※以下、数値や指標など用いながら具体的に記載してください。

①社会課題の概要	<p><b>【提案団体の視点】</b>  戦後78年を経過した今、戦争を直接体験した世代の人たちが少なくなり、戦争を知らない世代がほとんどとなっている。  戦争のない社会は恒久の願いであるが、世界では争いが絶えないのが実情である。歴史は形を変えて繰り返すとよく言われるが、二度と戦争という過ちを繰り返さないために過去の史実を知り、目をそらさず歴史の教訓から学ぶことが大切だと考える。  岡山空襲は人々の関心事になりにくい。公民館などで岡山空襲をテーマに講座を企画しても、参加者が少ない。大切なことなのに人が集まらないので実施に踏み切れない、という声を何度か耳にした。推進協が行う平和をテーマにした行事でも、参加者の年齢は高く、若い人たちの参加がない状況である。  岡山空襲展示室の利用・活用状況については、訪れたり、立ち寄ったりする人は決して多いとはいえず、平和学習のため見学に来る小学校や中学校の数も多くないと聞いている。  「平和推進岡山市民協議会（推進協）」は、岡山空襲を語り伝え、市民と共に平和について考えていきたいと願い活動をしている。「岡山市」と「平和を願う市民の人たち」と「推進協」が協働してできる活動を探り実現していきたい。</p> <p><b>【協働課の視点】</b>  岡山空襲展示室は、岡山空襲を中心とした資料を展示し、戦争の悲惨さと平和の尊さを次世代に語り継いでいくための施設である。岡山シティミュージアムの一部に展示室があり、3名の会計年度任用職員で運営している。このため、岡山シティミュージアム開館時には展示室も開館しているが、説明付きの見学予約以外は、展示室内は無人である。場所としても多くの見学は受け入れが難しい状況である。  また、開設から10年経ちコロナ禍の影響もあるが、入場者数は増えてはならず、学校の活用もごく一部にとどまっている。  戦後、時が経過し、日常で戦争の記憶に触れる機会はほとんどなくなり、身近な家族や地域や学校に、戦災を語れる人がいなくなっている。このような時代を迎え、岡山空襲展示室の役割はますます重要になると考えてい</p>
----------	---

	<p>る。</p> <p>岡山空襲展示室の活用が進み、岡山空襲を知り、戦争・平和について考える人が増え、戦争の悲惨さと平和の尊さを次世代に継承する人、それに携わる人の裾野を広げていきたい。</p> <p>そのために、まずは岡山空襲展示室にガイドを設置する事業を実施する。</p>
<p>②定性効果と定量的効果</p>	<p>定性的効果</p> <p>見学者やガイドへの聞き取りやアンケートにより、理解度等を把握する。</p> <p>参加者（ガイド）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・空襲について知り、平和の大切さを考える機会になる。</li> <li>・活動により岡山空襲展示室を支える。</li> <li>・戦争体験の継承や平和活動の担い手の育成につながる。</li> </ul> <p>市民</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史や戦争についての理解を深め、平和を大切にする意識を醸成する。</li> <li>・岡山空襲や戦争・平和に関する行事への参加のきっかけになる。</li> <li>・戦争体験の継承や平和活動の担い手を増やすことにつながる。</li> </ul> <p>岡山市</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・岡山空襲展示室の質の向上・充実（見学者の理解度・満足度）につながる。</li> <li>・平和行政、平和教育の推進につながる。</li> </ul> <p>定量的効果</p> <p>岡山空襲展示室の見学者の増加、活用の拡大を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・常設展示のガイド実施 0回→（岡山ファミリーミュージアム特別展開催時）10回以上</li> <li>・市内学校見学数 13校→増加</li> <li>・「岡山戦災の記録と写真展」の1日平均来場者数コロナ禍前156人→増加</li> </ul>
<p>③提案事業の内容</p>	<p>1年目の目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・岡山空襲展示室の「ボランティアガイド」を養成し設置する。1期生は推進協のメンバーを中心に実施する。</li> <li>・ガイドの内容・範囲、募集対象者・広報、運営を1年かけて固める。</li> </ul> <hr/> <p>(NPO)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本事業の事務を担当する。</li> <li>・ガイドの活動内容の検討のため、見学者等の状況・ニーズ調査を実施する。</li> <li>・ガイドの活動内容、マニュアルと運営の仕方を検討し作成する。</li> <li>・養成講座カリキュラムの原案を作成し協議する。</li> <li>・養成講座を受講する。 ・他都市の施設を視察する。</li> <li>・展示室でガイドを行う。展示室の運営補助を行う。</li> <li>・ガイド公募に向けて「募集要項・チラシ」を検討し作成する。</li> <li>・各団体、地域、学校へのアプローチの仕方を検討し、広報、募集を行う。</li> <li>・ガイドの登録、スケジュール調整、出勤管理を行う。</li> </ul> <hr/> <p>(岡山市)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ガイド養成のため、展示室や戦災展の見学を受け入れ説明等を行う。</li> <li>・ガイドの活動内容、マニュアルと運営の仕方を検討し作成する。</li> <li>・団体から提出された案を基に、養成講座カリキュラム作成する。</li> <li>・養成講座の講師の選定・依頼、会場等の確保・準備を行う。</li> <li>・学芸員を講師として養成講座に派遣する。 学芸員はガイド開始可否判定、指導を行う。</li> <li>・ガイド公募に向けて「募集要項・チラシ」を検討し作成する。</li> <li>・各団体、地域、学校へのアプローチの仕方を検討する。</li> <li>・広報活動を展開する。マスコミ（新聞社、テレビ局）に取材要請等。</li> <li>・各方面への募集アプローチの仕方を検討する。</li> <li>・2年目に向けて、活動内容・運営、カリキュラム、募集対象者・手法の総括と見直しを行う。</li> </ul>

	<p>2年目の目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1期生ガイドによる展示室ガイドを継続して行う。</li> <li>・公募のガイド2期生の募集と養成を行う。</li> <li>・若い世代も取り込み継続的な事業になるよう、活動内容、募集の手法を見直しながら事業を進める。</li> <li>・ガイド募集設置運営の事務処理（事務局運営）を軌道に乗せる。</li> </ul>
	<p>(NPO) &lt;1年目と同じ項目は省略&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「戦災の記録と写真展」ガイド講習会を受講し、ガイドとして活動する。</li> <li>・2期生募集に向けて、各団体、地域、学校へアプローチする。</li> <li>・活動内容・運営、カリキュラム、募集対象者・手法の見直しを行い、次々年度以降の取り組みを検討する。</li> <li>・本事業の事務処理を確立する。</li> </ul>
	<p>(岡山市) &lt;1年目と同じ項目は省略&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・募集の広報は、広報紙、市ホームページ、「戦災の記録と写真展」、教育委員会との連携など、市の立場を最大限に活用する。また、マスコミ活用など、多方面に多種の手段で行う。</li> <li>・「戦災の記録と写真展」のガイド講習会を開く。</li> <li>・活動内容・運営、カリキュラム、募集対象者・手法の見直しを行い、次々年度以降の取り組みを検討する。次々年度の一般施策化を目指す。</li> </ul>



### (3) 事業終了後の事業

<p>事業終了後の方針</p>	<p><input type="checkbox"/> 次年度に一般施策</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 市民協働推進事業として事業を継続し、次々年度に一般施策</p> <p><input type="checkbox"/> 次年度に提案団体の自主事業</p> <p><input type="checkbox"/> 市民協働推進事業として事業を継続し、次々年度の自主事業</p> <p><input type="checkbox"/> その他 ( )</p>
<p>事業の内容</p>	<p>岡山空襲展示室の「ボランティアガイド」を募集・養成・設置・運営</p>

(4) 事業スケジュール ※■月1回程度、打合せ（検討、進捗管理等）を行う

時期	一年目	二年目
4月	上旬	応募受付 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">2期生ガイド募集開始（～5月）</span>
	中旬	■顔合わせ：体制・スケジュール作成、実態調査準備
	下旬	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">他都市視察</span>
5月	上旬	■ガイド内容・運営の検討、 <u>室見学</u>
	中旬	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">状況・ニーズ調査</span>
	下旬	■ガイド内容・運営・マニュアル等検討
6月	上旬	応募受付
	中旬	■応募者通知、カリキュラム検討、 <u>2期生室見学</u>
	下旬	■ガイド内容・運営・マニュアル等検討
7月	上旬	■調査結果の報告、ガイド内容・運営・養成カリキュラム検討
	中旬	■講座準備、弱点強化委託内容（教材レプリカ作成等）検討
	下旬	■養成カリキュラム完成、講座準備（講師・テキスト・会場）
8月	上旬	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">他都市視察</span>
	中旬	■ガイド内容・運営・養成対象・募集方法検討、弱点強化委託（広報関係）検討
	下旬	■一般施策に向けた事業見直検討、弱点強化委託検討
9月	上旬	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">1期生ガイド養成講座（9月～11月全6回）</span>
	中旬	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">2期生ガイド養成講座（9月～11月全6回）</span>
	下旬	■養成対象・募集方法検討、委託決定、内容・運営の決定、 <u>マニュアル作成</u>
10月	上旬	■一般施策に向けた事業見直検討、弱点強化委託決定・実施
	中旬	■養成対象・募集方法検討、 <u>委託実施</u> 、 <u>マニュアル作成</u>
	下旬	■一般施策に向けた事業見直検討、 <u>委託実施</u>
11月	上旬	■一般施策に向けた事業計画決定、募集計画・広報計画検討
	中旬	■養成対象・募集方法・広報デザインの決定、 <u>募集計画</u> ・ <u>チラシ</u> 等作成
	下旬	
12月	上旬	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">1期生見習ガイド期間</span> ■募集計画作成、 <u>広報展開</u>
	中旬	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">2期生見習ガイド期間</span> ■募集計画作成、 <u>広報展開</u>
	下旬	<u>ガイド登録</u> ・ <u>スケジュール</u> ・ <u>勤務表</u> 作成
1月	上旬	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">2期生ガイド募集開始（～5月）</span>
	中旬	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">次々年度ガイド募集開始（～5月）</span>
	下旬	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">1期生ガイドの開始</span> 学校・団体まわり
2月	上旬	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">2期生ガイドの開始</span> 募集周知先回り
	中旬	■運営・ガイド内容・マニュアル見直検討
	下旬	■運営・マニュアル等見直整備
3月	上旬	■運営・ガイド内容・マニュアル見直整備
	中旬	■1年目振り返り・2年目準備
	下旬	■次々年度事業（一般施策）準備

(様式第3号)

## 市民協働推進事業収支予算書

提案事業名	岡山空襲を知らう伝えようプロジェクト
-------	--------------------

## &lt;収入&gt;

費目		金額 (円)	内訳
自己資金等	申請団体 自己資金	0	
	合同提案 団体負担金等	0	
自己資金合計 (a)		0	
その他収入		0	
その他収入合計 (b)		0	
岡山市補助金申請額 (c)		1,997,824	
収入合計 (d) = (a) + (b) + (c)		1,997,824	

## &lt;支出&gt;

費目		金額 (円)	内訳
事業実施経費	報償費：講師謝礼	110,000	研修講師 15,000 円×2 回, 10,000 円×2=50,000 指導謝礼 30,000 円×2=60,000
	旅費：他都市視察・その他旅費	265,360	東京 33,400 円, 大阪 12,920 円, 高松 3,320 円× 4 人=198,560、講師旅費 66,800 円
	費用弁償	320,000	交通費 コース 調査等 1,000 円×60 日×2 人、 募集 1,000 円×100 回×2 人
	消耗品	150,000	文房具、用紙、ファイル、書籍、視察先謝礼 簡易机椅子、名札等
	食糧費	3,000	講師飲料
	印刷製本費	100,000	研修資料、チラシ等
	通信運搬費	50,000	郵送料 チラシ送付, 応募書類送付等
	使用料・賃借料	310,000	研修・打合会場 90,000 円、コピー20,000 円、 通信機器・機材レンタル 200,000 円
	保険料	7,000	ボランティア保険 350 円×20 人
	委託料	300,000	広報関係等弱点強化 (フリンゲザイン等) 委託
事業実施経費合計 (e)		1,615,360	
管理運営経費	人件費 (事務局)	382,464	996 円×4 時間×8 回×12 月×1 人=382,464 (研修実施含む)
管理運営経費合計 (f)		382,464	
総事業費 (g) = (e) + (f)		1,997,824	

(添付書類等)

- ・ 人件費等については、積算の根拠（これまでの実績や独自の単価表）を添付すること
- ・ 参加料などの事業収入を見込む場合は「その他収入見込」欄に計上すること
- ・ 委託費は補助金交付申請額の3分の1以内に限りま